

「主のへりくだりと十字架」

ピリピ2：5-8

堀田修一 21・10・24

- I 教会が互いにへりくだって主にある一致を保つために、その大切な土台、模範であるキリストの人となられた謙遜と十字架の姿が語られる→：5-8。キリストの謙遜と私達の謙遜は決して同等のものではない。キリストは、最高の榮譽の立場から最も低い所に下り来られた（クリスマス）。私達の謙遜は、まず自分自身の本当の罪深さを認める事→「だれでも、りっぱでもない自分を何かりっぱでもあるように思うなら、自分を欺いているのです。おのおの自分の行いをよく調べてみなさい。そうすれば誇れると思ったことも、ただ自分だけの誇りで、ほかの人に対して誇れることではないでしょう」（ガラ6：3，4）。神は、私達の人目に隠れた行いも、すべての行いの心の動機も見抜いておられる。「あなたには、何か、もらったものでないものがあるのですか。もしもらったのなら、なぜ、もらっていないかのように誇るのですか」（Iコリ4：7）。すべては、神からの恵み！誇るのではなく神に感謝したい。
- II 「あなたがたの間では、そのような心構え（へりくだり、自分の事だけではなく、他の人の事も顧みる心）でいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです」：5。私達、教会が、一致を保つ最大の秘訣がここにある。それは、私達を顧み、愛し、驚くべきへりくだりをもって人となり（クリスマス）、仕え、私達の罪の為に十字架で死なれた主をじっと信仰の目で見つめる事（ヘブル12：2）。人のした悪や不当な行為を心に思い、根に持つ代わりに、キリストをじっと見つめ心に思いながら絶えず歩むことができますように。※へりくだりと十字架の主を思う時、私の心に赦しと愛が生まれる！
- III 私達が見つめるべきキリスト→
1. 「キリストは神の御姿（原語：姿、かたち）であられるのに、神のあり方（原語：神と同じ、神と等しくある事）を捨てられない（原語：手放したくない、固守しよう）とは考えず（原語：思わず、見なさず）」：6。私達は、あるものを握り締め、固守し絶対手放したくないと考える。※献身の証し。今は感謝。対比：アダムとエバは、「神のように」なろうとし（創3：5）神に罪を犯した。その人間の罪を赦し人間を救う為にクリスマスに来られたキリストは、逆の事をされた。偉大な神であられたのに、その特権を自発的に捨て、神であるのに「人となり」仕える者となり私達の罪の為に十字架の死にまで従われた。驚くべきへりくだり、従順、恵み！
 2. ①「ご自分を空しくして（原語：空にする）」：7。神としての特権を主張されずに、へりくだり、永遠の神が時間の中に、無限の方が有限の世界に、偉大な創造主が人となられた。完全に人となり、また神であられた主。人として疲れも痛みも経験され、神として奇蹟を行われた。
 - ②「仕える者の姿をとり」：偉大な神が人となり、貧しくなり（王宮ではなく、家畜小屋でお生まれになった）、人々から顧みられない人々を差別せず心から愛された。※罪ある人間との違い＝

日本でも世界でも差別がある。御自身を裏切る弟子たちのよごれた足を洗われた。私達人間から裏切られる経験を理解される主！主は、十字架に付けられる前に、「弟子たちはみなイエスを見捨てて」（マタイ26：56）逃げてしまうことを、ご存知の上で、3年間、愛し抜かれた。主の愛を受けての証し。困っている人へ。

③「人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ」。罪人である私達人間の身代わりに十字架で死ぬ為に人となられた。クリスマスと十字架の恵みを切り離すことなく、アドベント（待降節。初臨と再臨の主の到来を待ち望む）を迎えたい。「私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです」（ヘブル4：15）。私達の辛い経験を深く理解される主！神は、私を見捨てられたと悪魔の声にだまされてはいけません。神は、あなたを決して見捨てられない。

3. 「自分を卑しくし（原語：低くする、卑しくする、位を落とす、当然の権利を放棄する。2：3の「へりくだって」と同じ言葉）」：8。「しいたげと、さばきによって、彼は取り去られた」（イザ53：8）。主は私達の為にしいたげを受け、耐えられた。「道行く人は…イエスをののしった。…祭司長たちも…イエスをあざけて言った。「今、十字架から降りてもらおうか。そうしたら、われわれは信じるから」（マタ27：29-44）。栄光の主が、私達の為にへりくだり、辱めを受けて下さった。私達が、ののしられ辱められる時、理解して下さる主！「死にまで…従い」：8。命を造られたお方、生死を支配するお方が、死にまで、へりくだり従われた。父なる神への服従として、私達の為の死を受け入れられた。死を迎える私達に寄り添われる主！「それも十字架の死（私達の罪の為に神に呪われた者としての死、私達人間のすべての罪の刑罰を味わわれる壮絶な死、神との交わりの断絶としての死）にまで従われた」：8。そこに至るまで、主は私達の想像を絶する霊的な戦いを通られた（私達の霊的な戦いを理解される主！）→「ゲッセマネという所に来て…イエスは苦しみもだえ始められた。そのとき、イエスは彼らに言われた。『わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここを離れないで、わたしといっしょに目をさましていなさい』それから、イエスは少し進んで祈って言われた。『わが父よ。できますならば、この杯（神との断絶、人類のすべての罪の為に、神の聖なる怒りを受け、すべての人の罪を償われる）をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願うようにではなく、あなたのみこころのように、なさってください』（マタ26：36-39）。主は、この想像を絶する霊的戦いを通り、実に十字架の死にまで御父に従い、私達の罪の為に死んで下さったのです。

IV いつもこの主を見つめ、主から目を離さないで歩めますように。クリスマスと十字架の恵みへの私達の応答。

1. 心からの感謝、賛美、礼拝。私達は、神と主を賛美し礼拝する為に造られ、救われた。エペソ1：6、12、14。今年の地区聖会のメッセージは聞く価値のあるものです：地上の礼拝と天での礼拝は、つながっている！※CDを申し込まれ、是非、メッセージを聞いて下さい。大きな恵みを受けて下さい！

2. 主のへりくだりと愛を受け、私達も主を愛し従い、互いにへりくだり、互いのことを顧み愛し合い仕え合い、主にある一致を保ち主の教会を共に建て上げる。キリスト者の社会的責任＝「地の塩」（マタイ5：13。世が悪で腐るのを防ぐ大切な役）として、次週の選挙は大切な責任。富み過ぎ

ている人を優遇する人ではなく、へりくだりと愛のイエス様の様に、本当に弱い立場、困っている人、国民、庶民の気持ちを理解し、本気で助ける人に投票したい。改ざんや不正のない誠実な政治を祈り求めたい。

3. 主のクリスマス、十字架の愛、恵み、福音を祈りつつ家族、友人、知人に伝える。祈りつつクリスマスコンサートや礼拝に誘う。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」使徒16:31。「みことばを宣べ伝えなさい」Ⅱテモ4:2。「機会を生かして用いなさい」エペソ5:16。メッセージ、案内、福音版すべてが用いられるように祈りましょう。

4. 主を信じ、公の信仰告白として洗礼を受け、主の教会に加わり、互いに祈り合い支え合い、主の教会を建て上げる。「一人の罪人が悔い改めるなら…大きな喜びが天にあるのです」ルカ15:7。人が悔い改めて、神に立ち返り、主を信じて、洗礼を受けるなら天でも地でも神の喜びが満ちる。と同時に、洗礼はゴールではなく、信仰生活の始まりであり、霊的な戦いも始まる。それ故、洗礼を受けて、すべてが順調に行く人は、一人もいない。ですから、互いに愛し合い祈り合い支え合い
たい。

主は力強く言われる。「いつでも祈るべきで、失望してはいけない」ルカ18:1。「世にあっては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました」ヨハネ16:33。

「わたし

は決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない」ヘブル13:5